

介護記録の客観言い換え早見表

主観的な感情表現を排し、利用者の尊厳とスタッフの具体的な支援プロセスを証明する実務ガイド。

場面	主観的表現 (指導リスク)	客観事実・ケアプロセス	実務のポイント
入浴拒否	[NG] 入浴を拒否されたため中止した。	[客観] 「体がだるいから入りたくない」との訴えあり。意向を尊重し足浴をご提案・15分実施。「足が軽くなった」と笑顔あり。	一方的断定を回避 傾聴と代替ケア（足浴など）の経過を残す。
帰宅願望	[NG] 夕方に不穏になり、帰宅願望が強かった。	[客観] 靴を履こうとされ「家に帰って夕飯を作らなきゃ」と焦燥感あり。温かいお茶をお持ちしソファで傾聴。表情和らぎ塗り絵へ。	主観語を排除 本人の言葉（鍵括弧）と安心プロセスの事実を記録。
暴言・興奮	[NG] 職員に対して大声で暴言を吐き暴力を振るう。	[客観] 右手を振り上げ「触るな！」と大声あり。一旦2mの距離を取り見守り。別職員がお声がけし自室で休息。	状況と沈静手順 物理的距離の確保と別職員アプローチを客観記述。
意思疎通	[NG] 認知症が重く、指示が理解不能。	[客観] 視線定まらず返答なし。イラスト入り湯呑みをお見せし「温かい緑茶ですよ」とお伝えすると頷かれ、ご自身で水分100ml摂取。	尊厳配慮と工夫 絵やジェスチャーの工夫と本人の反応事実を記録。
食事全介助	[NG] 食事は全介助で全量摂取した。	[客観] 一口量調整および嚥下確認を行いつつ全介助。むせ込みなく全量摂取完了。「美味しかった」と満足の様子。	誤嚥予防の証明 一口量配慮・嚥下確認・むせの有無を具体明記。
日常観察	[NG] 一日特に問題なし。平穏に過ごされた。	[客観] バイタル安定（36.5、128/76）。午前はレク（風船バレー）に積極参加。午後は談笑され終始穏やかに過ごされた。	観察放置の回避 バイタル測定と具体的な活動事実を残す。
転倒発見	[NG] ベッドから転落した。	[客観] 物音がしたため訪室。ベッド脇の床上に左側臥位で座り込んでいるのを発見。バイタル安定、外傷なし。医師へ即時報告。	推測断定の禁止 瞬間未確認時は「床上に座り込んでいるのを記録」。
排泄ケア	[NG] リハパン失禁のため交換した。	[客観] 定時誘導時、リハパンに多量の尿汚染あり。陰部洗浄・皮膚観察（発赤・褥瘡なし）を実施し新しいパッドへ交換。安楽確認。	皮膚観察の明記 単なる交換報告にとどめず、褥瘡予防ケアを証明。

CHROME EXTENSION

「選ぶだけ」で、客観記録を3秒作成。

無料のChrome拡張『CareRecordAssist』を使えば、
上記の監査適合文章を介護ソフトへワンタップ入力できます。
現場辞書はずっと0円・無制限。右のQRコードから今すぐご利用いただけます。

